

「国有林材の安定供給システム販売(素材)」の結果公表

平成2年6月16日に公告しました「国有林材の安定供給システム販売(素材)」について、「申請書」及び「企画提案書」等を審査した結果、下記のとおり決定しましたので公表します。

記

1 システム販売の目的

一定の要件を満たす工場等と近畿中国森林管理局長が国有林材の販売に関する相互協定を締結し、その協定に基づき計画的な販売を実施することにより、国有林材の需要、販路の確保・拡大を図り、併せて地域における中核的な素材流通・製材の担い手の育成、流域管理システムの推進等に資することを目的とし、山元において販売するものです。

また、民有林材と国有林材をあわせた国産材の自給率アップに向けて、原木市場でB材・C材といわれる一般材及び低質材の利用・販路の確保等への取組を支援しています。

2 応募状況及び審査内容

(1) 応募状況

番号	関係森林管理署等	公募内容		応募件数	備考
		樹種	数量(m ³)		
34	滋賀	スギ	490	1	2年協定
35	鳥取	スギ	770	1	
36	広島	ヒノキ	2,530	1	3年協定
37	山口	スギ・ヒノキ	1,190	1	
38	福井	原料材N	250	1	
39	滋賀	原料材N	1,615	1	2年協定
40	奈良	原料材N・原料材L	400	1	
41	和歌山	原料材N	2,040	1	
42	鳥取	原料材N	920	1	
43	鳥取	原料材N	960	3	
44	鳥取	原料材N	1,190	1	
45	広島	原料材N	1,530	1	3年協定
46	山口	原料材N	415	1	

(2) 審査内容

企画提案書等の内容が、①システム販売の対象となる需要者の要件を満たしているか(必須項目)、②企画提案する10項目の取組内容(取組評価点)及び山元購入希望単価(価格点)等について、審査しました。

3 審査結果

番号	協定締結者	企画提案の概要	
		企画提案する取組	山元購入希望価格 スギ・ヒノキ(円/m) 原料材N・L(円/t)
34	奈良県桜井市大字戒重137番地 西垣林業株式会社 代表取締役 西垣 雅史	<ul style="list-style-type: none"> ・当社が取り組む国産材事業(山林経営、素材生産、木材流通、製材工場、製品流通、木工事請負)において、山元への還元を果たす原木の安定供給を実現する事と国産材製品を地域材として消費者に普及させることが課題であり、素材生産事業の拡大を目指して素材生産技術者の雇用・育成と素材生産力の向上、国産材製品の製造・販売に注力していく。 ・素材生産と共に不安定な原木輸送といった分野に対し、年間を通しての仕事を提供、また原木と製品とで往復便が可能となり、広域での効率的な輸送が可能となる。これにより運送コスト削減と運送事業創出を両立させ国産材に安定した供給力を持たせることを可能とする。 ・国産材全体で合法性、地域性を重視した製品の開発・普及に取り組む国産材の付加価値を創出し需要を拡大していく。 	<p>平均単価</p> <p>スギ 5,962円</p>
35	鳥取県鳥取市湖山町2丁目413番地 鳥取県森林組合連合会 代表理事会長 前田 幸己	<ul style="list-style-type: none"> ・現在県内東部地区を中心として出張土場等を設置し原木仕分・販売を行っているが、さらに県内に販売可能なストックヤードを増やし、電子入札なども活用した木材販売を行う設備に投資をしていく。 ・本会が原木を扱っている出張土場が現在鹿野町にある。そこで原木を受入、仕分・販売することで山土場にストレスなく原木取引が可能になり、山土場の流通がスムーズになる。 ・安定した規格製品の取引先を一定量確保することで県内製材所の製材品の販売先を創出する。その上で県内製材所の安定した県産材需要を創出することで国有林材も含めた県産材の木材価格の下支えにつなげる。 	<p>平均単価</p> <p>スギ 6,301円</p>
36	広島県広島市佐伯区薬師が丘3丁目19番28号 株式会社 ゴールドフォレスト 代表取締役 森本 宗宇	<ul style="list-style-type: none"> ・素材生産が多い地域にチップ工場を増設し、運賃コストの削減をはかる。素材生産、輸送、チップ製造を一貫して行い、経営基盤の強化を図る。 ・林地残材、原材料N等をシステム販売にて買い取ることで、森林資源の有効利用、森林更新、環境保全に貢献している。 	<p>平均単価</p> <p>ヒノキ 7,000円</p>
37	鳥根県益田市高津7丁目7番16号 株式会社 益田原木市場 代表取締役 阿知波 義雄	<ul style="list-style-type: none"> ・丸太不足に悩む製材所等に対して、大量に供給することで国産材製品の需給バランスを図ることができる。また、大型トラックを使用することで大量に運ぶことができコストの削減につながる。 ・製材所等にとって、あらかじめ供給される丸太の材積を把握することができるので製品を製造しやすくなり、歩留まりを上げることでコストの削減につながる。 	<p>平均単価</p> <p>スギ 6,982円</p> <p>ヒノキ 7,382円</p>
38	奈良県桜井市大字戒重137番地 西垣林業株式会社 代表取締役 西垣 雅史	<ul style="list-style-type: none"> ・当社が取り組む国産材事業(山林経営、素材生産、木材流通、製材工場、製品流通、木工事請負)において、山元への還元を果たす原木の安定供給を実現する事と国産材製品を地域材として消費者に普及させることが課題であり、素材生産事業の拡大を目指して素材生産技術者の雇用・育成と素材生産力の向上、国産材製品の製造・販売に注力していく。 ・素材生産と共に不安定な原木輸送といった分野に対し、年間を通しての仕事を提供、また原木と製品とで往復便が可能となり、広域での効率的な輸送が可能となる。これにより運送コスト削減と運送事業創出を両立させ国産材に安定した供給力を持たせることを可能とする。 ・国産材全体で合法性、地域性を重視した製品の開発・普及に取り組む国産材の付加価値を創出し需要を拡大していく。 	<p>平均単価</p> <p>原料材N 2,250円</p>
39	奈良県桜井市大字戒重137番地 西垣林業株式会社 代表取締役 西垣 雅史	<ul style="list-style-type: none"> ・当社が取り組む国産材事業(山林経営、素材生産、木材流通、製材工場、製品流通、木工事請負)において、山元への還元を果たす原木の安定供給を実現する事と国産材製品を地域材として消費者に普及させることが課題であり、素材生産事業の拡大を目指して素材生産技術者の雇用・育成と素材生産力の向上、国産材製品の製造・販売に注力していく。 ・素材生産と共に不安定な原木輸送といった分野に対し、年間を通しての仕事を提供、また原木と製品とで往復便が可能となり、広域での効率的な輸送が可能となる。これにより運送コスト削減と運送事業創出を両立させ国産材に安定した供給力を持たせることを可能とする。 ・国産材全体で合法性、地域性を重視した製品の開発・普及に取り組む国産材の付加価値を創出し需要を拡大していく。 	<p>平均単価</p> <p>原料材N 4,000円</p> <p>原料材L 4,500円</p>
40	奈良県桜井市大字戒重137番地 西垣林業株式会社 代表取締役 西垣 雅史	<ul style="list-style-type: none"> ・当社が取り組む国産材事業(山林経営、素材生産、木材流通、製材工場、製品流通、木工事請負)において、山元への還元を果たす原木の安定供給を実現する事と国産材製品を地域材として消費者に普及させることが課題であり、素材生産事業の拡大を目指して素材生産技術者の雇用・育成と素材生産力の向上、国産材製品の製造・販売に注力していく。 ・素材生産と共に不安定な原木輸送といった分野に対し、年間を通しての仕事を提供、また原木と製品とで往復便が可能となり、広域での効率的な輸送が可能となる。これにより運送コスト削減と運送事業創出を両立させ国産材に安定した供給力を持たせることを可能とする。 ・国産材全体で合法性、地域性を重視した製品の開発・普及に取り組む国産材の付加価値を創出し需要を拡大していく。 	<p>平均単価</p> <p>原料材N 3,000円</p> <p>原料材L 3,500円</p>

41	和歌山県田辺市新庄町2070番地の3 株式会社 井裕林産 代表取締役 井裕 啓次	<ul style="list-style-type: none"> ・山からの出材を安全かつ効率的にする為に、油圧式集材機やロージング・グラブブルの開発に力を入れ、出材量の増加に繋げる。また、未利用材を近隣のバイオマス発電所に納入する燃料用チップに加工して有効利用し、安定的に供給する。 ・チップ工場の安定的な原料確保が可能になり、生産量が増加し、それに伴いコストが縮減される。運送事業者の仕事量が増え、ドライバーの給料増加、燃料の消費量増大等で地域経済の活性化を計れる。 ・紙の需要が減る中で、未利用材の有効利用を拡大すべく、地元にてきたバイオマス発電所への燃料需要に対応できる体制を整え、安定的に供給する。 	<p>平均単価</p> <p>原料材N 3,000円</p> <p>原料材L 3,000円</p>
42	島根県松江市西津田一丁目2番14号 山陰丸和林业株式会社 代表取締役 北岡 幸一	<ul style="list-style-type: none"> ・森林の利用と保全に力を注ぎ、事業を幅広く展開していくための人材育成及び林業従事者の技術継承。工場の更新及び加工機械(チップパー等)、重機等の入替え。 ・システム販売材と民有林材を多く購入することで保管期間を長くし乾燥させる。また、輸送過程で水分を含ませないようにシートで覆い、水分の低減に努め、製品の付加価値の向上を更に目指し多少でも買取価格の上昇に繋がるよう努力する。 ・京都府・福井・兵庫・鳥取・岡山・島根県に加工工場及び集積工場があることを活かし、現場からの最短集積地に集荷することで流通コストを削減する。製品においても、広範囲に製品販売を行っていることと、自社車両を多く所有していることで流通工程の無駄を省く。 	<p>平均単価</p> <p>原料材N 3,800円</p> <p>原料材L 4,200円</p>
43	鳥取県鳥取市用瀬町樟原273番地5 用瀬運送有限公司 代表取締役 松尾 広樹	<ul style="list-style-type: none"> ・現在の社内体制として、造林事業、素材生産事業、木材流通事業、トラック輸送事業、木質バイオマス事業を展開している。これらの各部門の連携を強化していき経営基盤を盤石なものとする。地域林業へ安定的に貢献していきたい。 ・自社運送部門にトレーラー6台、14t車13台、5～10t車12台で計31台の車両を保有しており、中長距離の回り便や他場便の空きトラック等を積極的に利用することにより、広域にわたっての集荷・流通が低コストで可能となる体制を整えている。 ・用瀬町内に約18,000㎡の自社土場を保有しており、材の置ききや貯木、選別などが可能であり、柔軟な流通が可能となる体制を整えている。 ・規格外とされた素材は、自社の土場にて移動式チップパーによってチップ化し、バイオマス発電所へ供給している。4m曲り材等は造材し直して3mに直材として販売し、余った材はチップにすることで廃棄ロスの低減化を図っている。 	<p>平均単価</p> <p>原料材N 5,000円</p> <p>原料材L 5,000円</p>
44	岡山県真庭市三田131 真庭木材事業協同組合 代表理事 堀 敬司	<ul style="list-style-type: none"> ・戦後、植栽されたスギ・ヒノキ材が伐期を迎えつつある。そこで全幹木は基より枝葉等も搬出することで、総合所得の向上に努めている。今後は枝葉等においては、現場破碎の必要性があることから、小型破碎機を導入している。 ・今後は、枝葉等における搬出において、現場破碎の必要性があることから小型破碎機を導入し、自社車両を効率的に稼働させることで、搬出・輸送コストの削減に努めている。 ・国有林のシステム販売材の購入において、輸送コストのウエイトが非常に高く、自社車両を効率的に稼働させることで、輸送コストの削減に努めている。 	<p>平均単価</p> <p>原料材N 2,900円</p> <p>原料材L 3,800円</p>
45	広島県安芸高田市向原町坂字谷本4255番地 有限会社 殿林 代表取締役社長 森永 賢悟	<ul style="list-style-type: none"> ・既存のウッドワン発電所をはじめ、広島西風バイオマス発電所、来年稼働予定の海田バイオマス発電所等、広島圏近郊のバイオマス発電所及び、県北地域に今後稼働予定の発電所に森林未利用材由来のチップ燃料を安定的に供給するために積極的に森林資源の買付、回収を進めていきたい。 	<p>平均単価</p> <p>原料材N 3,500円</p> <p>原料材L 4,000円</p>
46	島根県益田市高津7丁目6番10号 安野産業株式会社 代表取締役 安野 伸路	<ul style="list-style-type: none"> ・現在チップ工場老朽化に伴い来年度チップ工場の全面的な更新を計画し、併せて製材工場の一部台車を大径材が扱えるよう大型化する予定。 ・工場更新に伴い、バイオマスチップの増産をする。来年度12月中国電力三隅発電所が再稼働し、翌年4月津和野町に新規にバイオマス発電所が稼働予定、今年度は造成工場と聞いている。両施設に木質バイオマスチップを納入予定。 	<p>平均単価</p> <p>原料材N 4,000円</p> <p>原料材L 4,300円</p>